



奈良県感染症情報

令和7年 第34週(8月18日～8月24日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

伝染性紅斑 警報発令中!

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	新型コロナウイルス感染症	8.50	(5.73)	↑	↑	↑	↑
2	感染性胃腸炎	5.38	(3.74)	→	→	→	↘
3	伝染性紅斑	3.04	(1.58)	↗	→	↗	↑
4	A群溶連菌咽頭炎	0.83	(0.21)	↘	↘	↘	↑↑
5	RSウイルス感染症	0.67	(0.58)	↗	→	↗	→

発生状況: **大流行** **流行** やや流行 少し流行 散発 (疾患毎に、基準値を定めています。)

※新型コロナウイルス感染症等、基準値のない疾患については発生状況の評価を行っておりません。

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 ↑↑急増、↑増加、↗やや増加、→横ばい、↘やや減少、↓減少

◆ 県内概況 ◆

第34週の新型コロナウイルスの定点当たり報告数は8.50と前週の5.73と比べ増加し、奈良県全域で増加が見られ注意が必要です。手洗い、換気などの基本的な感染対策をお願いします。手洗いは、流水のみでもウイルスを流すことができるため有効です。さらに石けんを使った手洗いはコロナウイルスの膜を壊すことができるので、より高い効果が期待できます。手洗いの際は、指先、指の間、手首、手のしわ等に汚れが残りやすいといわれていますので、これらの部位は特に念入りに洗うことが重要です。また、流水と石けんでの手洗いができない時は、手指消毒用アルコールも同様にウイルスの膜を壊すことによって感染力を失わせることができます。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は3.04と依然として高い水準で推移しており、第23週から引続き警報発令中です。特に3歳から6歳の小児の報告が多く、全体の約8割を占めています。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(田中小児科医院)

外来数は少ない。高熱の患児にCOVID-19、アデノウイルス感染症があり、咳を伴う症例ではRSウイルス感染症が見られる。伝染性紅斑と感染性胃腸炎は少数となった。インフルエンザは無かった。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は多くない。

COVID-19が増加、発熱例は検査実施必要。家族内感染の乳児例もある。

咽頭痛は報道程著名ではない例が多い印象。インフルエンザは全く見られていない。

咳嗽例は減少、感染性腸炎は横ばいで持続、嘔吐より下痢が主でノロ様ではない。

伝染性紅斑が急増中、典型的な発疹の例も多い。殆ど無熱。妊婦例はなかった。

A群溶血性連鎖球菌感染症、アデノ陽性例が少し。ヘルパンギーナはなかった。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

全体として感染症は落ち着いている。手足口病およびヘルパンギーナは減少傾向にある。マイコプラズマ感染症は散見される。現時点でインフルエンザの報告は認められていないが、COVID-19は数件の報告がある。

◆定点把握感染症報告状況◆

令和 7 年 第 34 週 8 月 18 日 ~ 8 月 24 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野		
インフルエンザ	42	11	9	9	9	4	
インフルエンザ	6 (0.14)	1 (0.09)	4 (0.44)			1 (0.25)	
新型コロナウイルス感染症	357 (8.50)	64 (5.82)	49 (5.44)	85 (9.44)	102 (11.33)	57 (14.25)	
小児科定点数	24	6	5	6	5	2	
RSウイルス感染症	16 (0.67)	3 (0.50)	1 (0.20)	4 (0.67)	8 (1.80)		
咽頭結膜熱	15 (0.63)	2 (0.33)		7 (1.17)	6 (1.20)		
A群溶連菌咽頭炎	20 (0.83)	4 (0.67)	1 (0.20)	4 (0.67)	9 (1.80)	2 (1.00)	
感染性胃腸炎	129 (5.38)	16 (2.67)	28 (5.60)	14 (2.33)	70 (14.00)	1 (0.50)	
水痘	5 (0.21)	1 (0.17)	4 (0.80)				
手足口病	13 (0.54)		5 (1.00)	6 (1.00)	2 (0.40)		
伝染性紅斑	73 (3.04)	12 (2.00)	11 (2.20)	20 (3.33)	26 (5.20)	4 (2.00)	
突発性発しん	7 (0.29)		2 (0.40)	1 (0.17)	4 (0.80)		
ヘルパンギーナ	14 (0.58)		4 (0.80)	1 (0.17)	9 (1.80)		
流行性耳下腺炎	3 (0.13)	2 (0.33)	1 (0.20)				
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	
急性出血性結膜炎							
流行性角結膜炎	8 (0.80)	6 (2.00)	1 (0.33)	1 (0.50)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	
細菌性髄膜炎							
無菌性髄膜炎							
マイコプラズマ肺炎	9 (1.50)			5 (5.00)	4 (4.00)		
クラミジア肺炎							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)							

◆全数把握感染症報告状況◆ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核3件(奈良市1、中和2)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症3件(奈良市1、郡山1、中和1)
4類感染症	レジオネラ症3件(郡山3) 日本紅斑熱1件(奈良市1)
5類感染症	梅毒1件(中和1) 百日咳8件(奈良市2、郡山1、中和5)

◆入院基幹定点報告状況◆

インフルエンザ	1	新型コロナウイルス感染症	40
---------	---	--------------	----

◆急性呼吸器感染症(ARI)◆

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部						
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野								
定点数	42	11	9	9	9	4							
急性呼吸器感染症	1293 (30.79)	250 (22.73)	171 (19.00)	358 (39.78)	403 (44.78)	111 (27.75)							
年齢別													
年齢	0歳	1~4	5~9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計
男	46	211	93	47	17	31	37	40	38	37	21	20	638
女	49	207	97	35	15	30	40	35	47	35	34	31	655

◆第34週のトピックス◆

腸管出血性大腸菌感染症における血清群O103とO166の届出状況について
(2025年第1週-第30週診断、2025年7月30日時点)(国立健康危機管理研究機構HP)
<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/ehec/010/index.html>

上段:報告数 / 下段:定点当たり報告数 報告数÷定点数

※データは報告数集計の速報値として公開するものであり、後日奈良県感染症情報(週報)、さらには確定データとしての年報において修正される場合があります。

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計		
インフルエンザ	男											1			1							1	2	3017	
	女													1		1							4	4	2921
新型コロナウイルス感染症	男	3		7	1	4	1	2	1		2	2	11	7	14	15	18	21	19	14	7	149	2559		
	女	6	7	10	4	4			3	2	1	5	8	7	19	13	23	32	28	19	17	208	2996		
RSウイルス感染症	男	1	2	4																			7	553	
	女	1	1	3	3	1																	9	501	
咽頭結膜熱	男		1	4	2	1																	8	252	
	女			3	1	2	1																7	194	
A群溶連菌咽頭炎	男			3			1	7	1	1	1	1											15	659	
	女					2			1						1								5	489	
感染性胃腸炎	男	2	10	12	10	6	6	2	1	5	2	2	4										64	4026	
	女	2	3	13	11	4	7	7	3	1	2	3	5		4								65	3401	
水痘	男						1				1												1	111	
	女		1										2										4	91	
手足口病	男	2	1	5	1	1			1														10	366	
	女			2				1															3	282	
伝染性紅斑	男		1	1	3	9	6	7	13	1	1												42	505	
	女			1	2	7	9	5	4	1			2										31	495	
突発性発しん	男			1																			1	146	
	女			4			1			1													6	112	
ヘルパンギーナ	男		2	3	1				1														7	205	
	女		2	4					1														7	188	
流行性耳下腺炎	男									1													2	15	
	女											1											1	15	
急性出血性結膜炎	男																							1	
	女																							3	
流行性角結膜炎	男		1					1									3						5	88	
	女								1					1							1		3	88	
細菌性髄膜炎	男																							2	
	女																							7	
無菌性髄膜炎	男																							9	
	女																							4	
マイコプラズマ肺炎	男			1	1																		2	73	
	女			5	2																		7	71	
クラミジア肺炎	男																								
	女																								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																								20
	女																								17

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ R7 ▲ R6 □ R5 〰 過去10年平均

